しろかねくがね
銀も金も
(やまのうえのおくら
山上憶良)

解説 子供は宝であることを、教え諭さとした歌。

しろかね
銀も
くがね
金も
たま
玉も
なにせむに

語釈 ※なにせむにⅡいたい何になるというのであろうか。
※及かめやもⅡ及ぶことができようか、いや、ない。

まさ
優れる
たから
宝
こ
子に
し
及かめ
やも

通釈 銀も金も玉も世の中では最上の宝であるが、私にとって何になるう。どんなに貴重な宝であるといっても、子供に及ぶものがあるうか、いや、ないであろう。